

中学3年生へのメッセージ（「学校案内」について）

令和2（2020）年9月

栃木県立宇都宮中央女子高等学校 校長 稲葉昌弘

中学3年生の皆さん、栃木県立宇都宮中央女子高等学校のホームページを見ていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和3（1928）年、宇都宮大学共同教育学部の前身である栃木県女子師範学校内に、栃木県立宇都宮第二高等女学校として創設されました。90年を超える歴史と伝統のある高校です。

学校案内の表紙に「宇中女魂 うちゆうじよだましい 華 はなになれ」とあります。「宇中女魂」とは、宇中女生としてのプライドを示す言葉です。本校で学び、頑張っているからこそ、どんな状況にあっても自分らしくできる。そんな、しなやかで強い心の持ち様を表しています。「宇中女魂」を持った本校生の活躍を願って、「宇中女魂 華になれ」という言葉が受け継がれているのです。

「宇中女魂」とは何か、具体的には4点あると考えています。

第1は、高い学力・見識を身に付け、結果として各自が進路目標を実現することです。

第2は、運動部・文化部活動等をとおして自分自身を磨き、学校全体としても強豪校であり続けることです。

本校では、この2点を両立させることを目指し、「勉強プラスワン」をスローガンに掲げています。本校の授業は、予習や復習が求められる、真剣勝負の厳しい授業です。土曜や放課後などの課外学習もあります。本校では、生徒一人一人が自らの将来を見据えて勉強に取り組むことを強く求めています。

一方で、学校は勉強だけをやる場所ではありません。好きな部活動等に入ってスポーツや文化活動をし、心と体を鍛え、仲間をつくり、友情を育てるところでもあります。本校では部活動等への加入を奨励しており、多くの生徒がこれに応じて活発に活動しています。上級生の指導による自主的自発的な運営のもと、自分たちで立てた目標達成のために、自分たちで頑張る伝統があります。結果として、毎年多くの生徒が全国大会や関東大会へ出場しています。

第3は、生徒会活動・学校行事やボランティア活動などに、仲間とともに全力で頑張ることです。そのことで、社会性や思いやりある穏やかな心が醸成されています。

第4は、高い品格を身につけることです。そのために、毎日の清掃、服装の着こなし、言葉づかいやマナーに関する指導を行っています。

また、本校には、「先輩は後輩の手本となり、いい加減なことはしない。」「後輩は先輩からの指導や助言を素直に受け入れる」という学校文化があります。3年間の学校生活を

ととして、自然と身に付けていくものです。

今年度は、Web上での一日体験学習となることから、本校の様子を直接見ていただけないのはとても残念です。ご不明の点があれば、学校にお問い合わせください。

最後に、本校は、令和4(2022)年度入学生(現在の中学2年生の年代)から、共学化と単位制を導入します。「進学に重点を置く単位制」の特徴を生かし、全国の難関大学をはじめ希望する大学への進路実現に向けて、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、「トップ進学校」を目指していきます。新しい校名は、「栃木県立宇都宮中央高等学校(仮称)」となり、現在は教育目標や教育活動などの検討を進めているところです。

施設・設備に関しては、新しい体育館、探究や発展的学習に使える大講義室・講義室(冷暖房完備)、野球場・サッカー場・陸上トラックがとれる広いグラウンドなどを作ることになっています。ICT機器の整備も進み、男女ともに、思いきり勉強や運動に取り組める学校ができあがります。一部の工事は今年度中に始まるので、来年度には使えるようになるものがあります。

本校は、これから大きく変わっていきます。先輩方が築いた校風を受け継ぎながら、皆さんと一緒に、今まで以上に素晴らしい学校にしていきたいと考えています。

来春、皆さんとお会いできることを、心から願っています。